



# KOBE BOYS TOWN

神戸少年の町

子どもたちを中心に

## 施設の概要

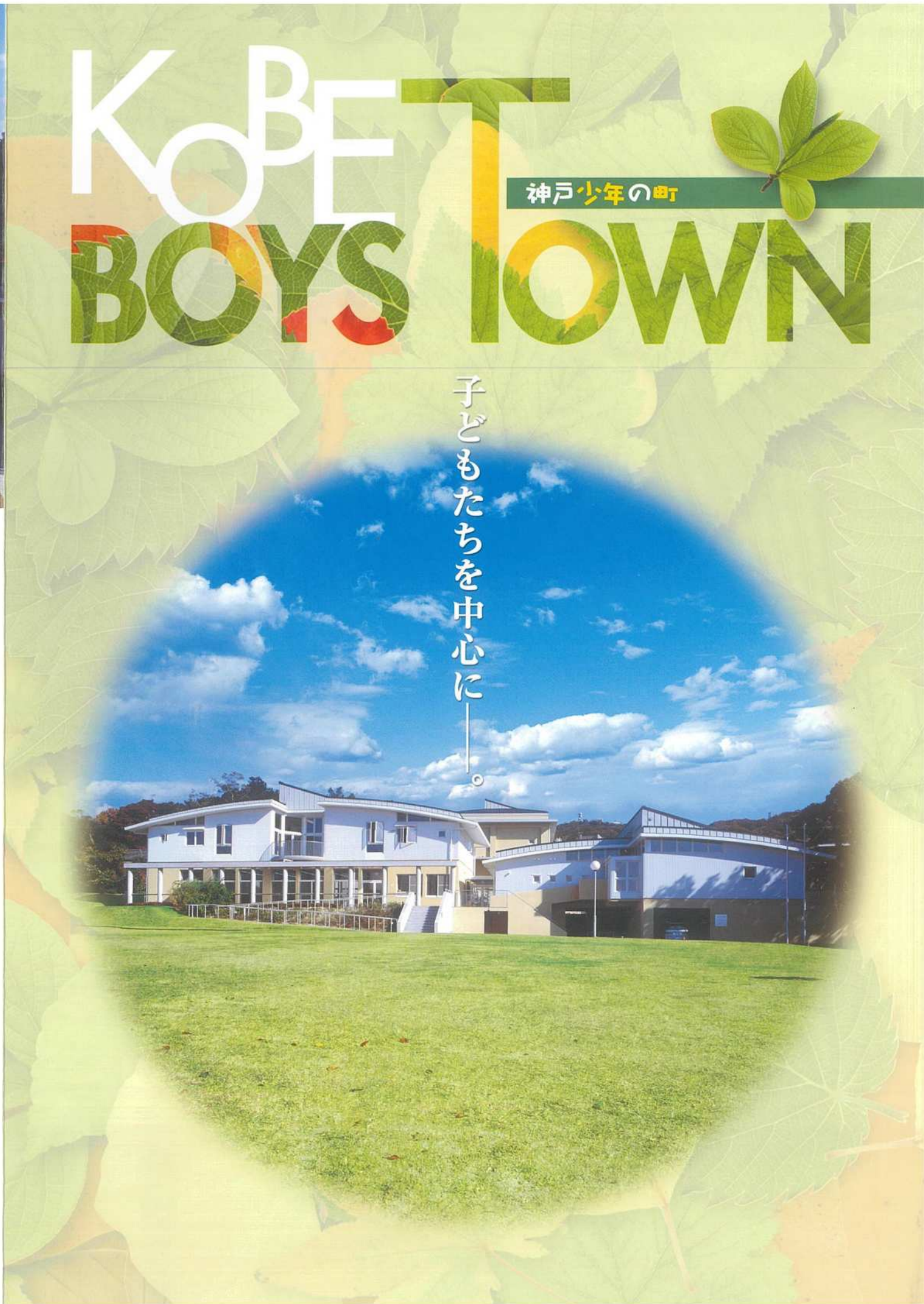
総敷地面積:22,326.85m<sup>2</sup>

	本館	地域交流棟	乳児院
建築面積	418.97m <sup>2</sup>	339.00m <sup>2</sup>	506.69m <sup>2</sup>
延床面積	980.24m <sup>2</sup>	530.64m <sup>2</sup>	465.75m <sup>2</sup>
構造規模	RC造 地下1階/地上2階建て	RC造、S造 地下1階/地上1階建て	RC造、S造 地下1階/地上2階建て



社会福祉法人 **神戸少年の町**

〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町梅木谷720  
TEL.078-751-2222~4 FAX.078-751-3230



# 子どもたちを中心に

(佐々木神父)

## 神戸少年の町の町訓

- 感謝 ● THANKS
- 兄弟愛 ● BROTHERHOOD
- 奉仕 ● KINDNESS

神戸少年の町創立者の故佐々木神父は、1972年5月5日、こどもの日に帰天されましたが、最期の床で「ありがとう、みんななかよく、社会のためになるように」という言葉を私たちに遺されました。

それ以来、この三つの言葉は、私たちが毎日を過ごす上で絶えず念頭に思い浮かべる言葉になりました。



「悪い子どもなんていないんだ」という理念のもと、子どもたちが安心して暮らせる家をフラナガン神父がアメリカにつくった約30年後、佐々木神父により神戸の塩屋に神戸少年の町がスタートしました。3名の子どもから始まった施設が現在は約90名の子どもたちが暮らす児童福祉施設になっています。

乳児院、児童養護施設があり、施設の子どもたちのケア、その他地域支援を視野にいれたサービスを提供しています。



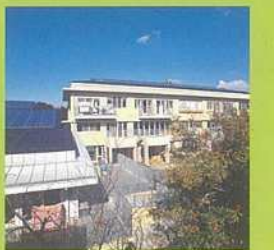
フラナガン神父



佐々木神父

## 沿革

- 1947 フラナガン神父来日。佐々木神父に「少年の町」創設をすすめる。元兵庫県産業報国会塩屋道場の払い下げを受ける。
- 1948 中田稔施設長のもとに3人入所して発会式。  
6～18才男子、定員60名で養護施設として認可を受ける。
- 1950 財団法人となる。
- 1952 社会福祉法人へ組織変更。
- 1954 働く青少年の家「青年寮」開設。  
記録映画「神戸少年の町」をつくる。
- 1963 神戸少年の町後援会を設立。
- 1967 乳児院設立認可。(定員20名)
- 1968 アメリカのボーイズタウン合唱団来日。
- 1969 鉄筋コンクリート3階建ての本館が落成。
- 1972 佐々木神父死去。
- 1976 OB会発足
- 1983 養護施設(定員84人)
- 1994 アフターケア施設として「青雲寮」を開所。
- 1997 養護施設分園(6名)がスタート。
- 2001 リニューアル工事完了。児童養護施設は6つのグループホームに。乳児院も移転で再スタート。(児童養護施設は定員70名、乳児院は定員20名)



**児** 童養護施設は「保護者  
のない児童、虐待され  
ている児童など、環境  
上養護を要する児童を入所させ  
て、これを養護し、あわせて退所し  
た者に対する相談その他の自立  
のための援助を行うことを目的と  
する施設」(児童福祉法第41条)  
です。

神戸少年の町は、第2次世界大  
戦後、戦争で両親を失ったこども  
たちのための施設としてスタート  
しました。現在では、様々な家庭の  
事情によって入所してきたこども  
たちが仲間とともに一緒に生活して  
います。



## 児童養護施設

少年の町では2001年に大改  
築工事を行い、ホーム制を採用す  
ることで、より親密な人間関係  
の中で愛着と信頼関係を築き、こ  
どもたち一人ひとりが安定した成  
長を図れるよう取り組んできました。  
現在は同じ敷地内に6つのホーム  
があり、集合化した住環境ながら  
メゾネットタイプやフラットタイ  
プの建物は個性のあるこどもたち  
の「家」となっています。

各ホームは10名以下の少人数  
で構成されており、この体制を活  
かし、できるだけ快適に、またそ  
れぞれが能力や興味を活かして楽  
しく過ごせるよう、こどもたちと職員  
が話し合いながら日々の生活を  
送っています。



**乳** 児院では、キリスト教  
精神に則り、かけが  
えない生命の誕生を  
祝福し、家族に代わって、また家  
族と共に、乳幼児の健やかな生  
育を守り支えることを基本とし  
ています。

保育士、看護師、心理士、栄養  
士のほか、家庭支援専門相談  
員、里親支援専門相談員等様々  
な専門性を持つスタッフが協働  
し、こどもたちが家庭的な安定  
した環境の中で健やかに育つよ  
う、個別の発達状況やケースに  
沿った支援を行っています。

開放的かつ一室空間型を採用  
した自然の光や風が感じられる  
明るい居室で、こどもたちは  
毎日のびのびと生活して  
います。



## 乳児院

## 地域子育て支援

**神** 戸少年の町では、地  
域に根ざす施設とし  
て、近隣との関係や  
日常的な交流を大切にしま  
した。現在も施設の地域化・社会  
化を目指し、地域行事、学校行  
事への協力の他、子育て支援と  
して親子の遊びや交流の場  
の提供を目的とした「おひさま  
ひろば」や敷地内の庭の開放を  
行っています。

また神戸市から委託を受け  
て、お子さんを一時的にお預か  
りするサービス「子育てリフレ  
ッシュステイ」を行っています。日  
帰りで利用するデイサービス、  
宿泊を伴うショートステイがあ  
り、ご家族の病気、入院、出産、冠



婚葬祭、出張等の事由のほか、  
育児疲れのリフレッシュのため  
にも利用できるサービスです。  
利用の詳細については、児童養  
護施設、乳児院の各施設に直接  
お問い合わせください。

